記入例

訂正される場合は、 二重線を引き、訂正印 を押してください

貸付決定番号 第 号

介護分野就職支援金貸付申請書

提出日を記入

○年 ○月 ○日

山口県社会福祉協議会長様

T753-***

生年月日

現住所を記入

現住 所山口市〇〇町〇丁目〇 号まで略さる

アパート名・マンション名・部屋番 号まで略さず記入してください

ふりがな やまぐち はなこ

申請者 氏名 山口 花子

平成〇年 〇月 〇日 (〇〇歳)

電話番号 自宅:083-***-***

携带:090-****

下記のとおり介護分野就職支援金の貸付を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

記

1 貸付申請額 金 200,000 円 (※200,000 円以内)

2 特記事項

法人名だけでなく、施設名も記入してください

rh 3 キ 北	事業所名	社会福祉法人 ○○○ 特別養護老人ホーム ○○○○
申請者が就職 した事業所等 (※1)	所 在 地	〒753-**** 山口市○○町○ - ○
VN 27	就 職 年 月 日	○年 ○月 ○日
修了した研修 (※2)	研 修 名	介護職員初任者研修
(注) 就職日の1年 前から就職日までの	研修修了日	○年 ○月 ○日
1年間に修了した研 修に限る	実施機関名	00000
直近の退職年月日 (離職者に限る)		○年 ○月 ○日
退職した事業所名		株式会社 〇〇〇〇
(職・種	重)	(<u>事務職</u>)
e loste IIII A - a a		

<mark>該当の場合</mark>☑してください。

☑ 私は、これまでに介護分野で介護等の業務に就いた経験がありません。

- (※1) 事業所の証明のある「就労証明書」 (別紙) を添付
- (※2) 資格証明書等の写しを添付

(第9号様式裏面)

3 介護分野就職支援金利用計画書

介護分野就職支援金の利用計画 (該当するすべての□に ✔を入れてください)	 □ 子どもの預け先を探す際の活動費 ☑ 介護に係る情報収集や講習会参加経費、参考図書等の購入費 □ 介護職員等として働く際に必要となる靴や道具又は当該道具を入れる鞄等の費用 □ 敷金、礼金又は転居費など転居を伴う場合に必要となる費用 ☑ 通勤用の自転車等の購入費
---	---

4 連帯保証人

	sp がな 氏 名	やまぐち たろう 山口 太郎	
	住 所	〒753-**** 山口市〇〇町〇丁目〇 - 〇	
連帯保証人	勤務先名称 株式会社 ○○○○ 帯保証人	株式会社 〇〇〇〇	
(個人の場合)	勤務先住所	〒753-00** 山口市〇〇町(前年度収入は、総支給額を記入してください	
	勤務先 電話番号	(所得証明書で確認できる場合は、「給与収入」の金額 083-***	質を記入)
	前年度収入	*, ***, ***円 世帯員数 3人	

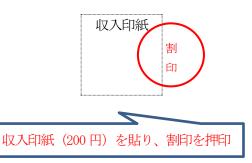
5 その他の連絡先

	sb がな 氏 名	やまぐち ゆうこ 山口 優子	申請者との関係 (母)
本人・連帯 保証人以外 の連絡先	住 所	〒753-**** 山口市〇〇町〇丁目〇 - 〇	
	電話番号	(自宅) 083-***-***	(携帯) 090-****

※記入できない事情がある場合は本会までご相談ください。

本人・連帯保証人以外の連絡先を記入してください

誓 約 書



山口県社会福祉協議会長様

この度、社会福祉法人山口県社会福祉協議会介護福祉士修学資金等貸与実施要綱に基づく貸付金の貸付を受けるに当たって、同実施要綱の各条項を承知の上、これを遵守することを誓約します。

また、貸付金を返還する場合には返還期限までに返還します。

○年 ○月 ○日

貸付金借受者 〒 753-****

住所

山口市〇〇町〇丁目〇 - 〇

ふりがな やまぐち はなこ

氏名 山口 花子

(6

目署

電話番号 自宅:083-***-***

携帯:090-****

上記の者に係る貸付金の借り入れについて、貸付金借受者と連帯して債務を負担することを誓約します。

○年 ○月 ○日

連帯保証人 〒 753-****

住所

山口市〇〇町〇丁目〇

実印 (印鑑登録証明書と同じ印)

目者

ふりがな やまぐち たろう

氏名 山口 太郎

借受者との関係 (父)

電話番号 自宅:083-***-***

携帯:090-****

添付書類

連帯保証人の印鑑登録証明書

【ご担当者様】

この証明書は社会福祉法人山口県社会福祉協議会が実施する介護分野就職支援金貸付事業による貸付金の貸付要件を確認するために提出していただく書類です。

お忙しいところ恐縮ですが、正確にご記入いただくようお願いします。

記入例【申請】就職先の事業所

		就労証明書
口県行	社会福祉協議会会長 村	様 ※記入例をご参照のうえ、すべて事業所の方が記入してください
就労	約 ^{がな} 氏 名	00 000
者	住 所	〒〇〇〇一〇〇〇〇 法人名だけでなく勤務する具体的な施設 も記入してください。
施	設・事業所の名称 (具体的な施設名を記入)	(福) ○○○ 特別養護老人ホーム ○○○○
施詞	役・事業所の所在地	○○市○○○○~
	業務の職種 (介護職員等)	介護職員 主たる業務が介護等の業務ではない場合は対象にはなりません。
	主な業務の内容	施設利用者への介護業務全般
在職期間	退職している	年 月 日 ~ 五 日 日 元 元 実勤務日数日間 「前等の業務で採用した日を記入してくる」
(どちらかのみ記入)	現在就労している	
-	在職期間中で 労しなかった期間 当に27チェックしてください)	年 月 日 ~ 年 月 日 □ 出産・育児休暇 □ その他 ()
	設・事業所等区分 に <mark>2</mark> チェックしてください)	☑ 居宅サービス等(介護保険法(平成9年法律第123号)第23条に規定する 居宅サービス等をいう。)を提供する施設・事業所□ 第一号訪問事業を実施する施設・事業所□ 第一号通所事業を実施する施設・事業所
就分	労状況は上記のとおり	相違ありません。 この区分に該当しない施設・事
	○年○月	<u>○日</u> ←雇用開始日以降の日付 は対象とはなりません。
		〒〇〇〇 - 〇〇〇〇 所在地
		電話番号 0000-00-000
	(記入担当者名: 〇〇 〇〇 直通電話: 〇〇〇〇 - 〇〇 - 〇〇〇〇)

(注) 1 記入内容を訂正する場合は、訂正箇所を二重線で消し、公印を押印して正しい内容を記入してください。 2 法人内異動がある場合は、施設・事業所による証明ではなく法人による証明としてください。 3 主たる業務が介護等の業務ではない期間は、返還免除の対象業務に従事した期間に算入できません。